

女性のつながりサポート支援事業【岐阜県】

総事業費	7,294 千円
交付金額	3,647 千円

地域の実情と課題

- ◆地域の実情
新型コロナウイルス感染症の拡大・長期化等により影響を受け、不安を抱える女性への支援が引き続き必要となっている。
- ◆課題
孤独・孤立に陥らないよう、個々のニーズに応じたきめ細やかな支援が必要である。

事業の特徴

○様々な不安を抱える女性が孤立・孤独に陥らないよう、NPO等の知見を活用して、訪問支援や居場所づくりを行い、必要な支援につなげる。

事業の効果

- 本事業実施団体による知見を活かし、さまざまな不安に対応した支援を実施することができた。
- 多くの団体間での連携を図り、支援者を必要な支援につなぐことができた。

目的・目標

訪問支援件数	(目標) 250件	(達成度) 464件
居場所提供	(目標) 500回	(達成度) 1140回
生理用品の提供(ネット申請)	(目標) 250名	(達成度) 104名
意見交換会参加者数	(目標) 100名	(達成度) 149名

連携団体

- ◆清流の国ぎふ女性の活躍推進会議
- 【経済・各種団体】
県経営者協会、県経済同友会、県建設業協会、県森林施業協会、県商工会議所連合会、県商工会連合会、県中小企業団体中央会、県農業協同組合中央会、日本青年会議所東海地区岐阜ブロック協議会
- 【行政】
岐阜労働局、中部経済産業局、県市長会、県町村会
- 【その他】
NPO代表、企業経営者・人事担当者、学識経験者 他

今後の課題

○生理用品の提供において、どの課に行ったら対応してもらえるかわかりにくいといった利用者等の声を反映させ、複数課で包括的に窓口配布に取り組むことを新たに目指す必要がある。また、自ら助けてと言出しにくい場合も多々あることを踏まえ、配布希望の申し出があった場合に限らず、職員が対応していくなかで、必要だと感じる方には積極的に声掛けを行う必要がある。

◆女性のつながりサポート支援事業

さまざまな不安を抱える女性に対し、NPO等の知見を活用し、訪問支援の実施、居場所の提供、生理用品の提供など、きめ細かい支援を実施した。

岐阜県女性のつながりサポート支援事業

お困りごと・不安はありませんか？

ひとりでかかえこまずにご相談ください

岐阜県では、さまざまな不安を抱える女性に対して、女性のつながりサポート支援事業を行っています。お気軽にご相談ください。
また経済的理由で、生理用品の購入に困っている方が増えています。そこで、緊急的な支援として生理用品の配布を行っています。

実施期間：2025年4月～2026年3月 生理用品の配布は早期に終了することがあります。



Webで相談を受け付けています

<http://gifu-npocenter.org/tsunagari>



お問い合わせ先
Eメールのやり取りを行っています

生活、子育て、DV被害はもちろん、友だち付き合いや人間関係などについて不安を抱えている女性に対して、**訪問支援**や**居場所の提供**が行っています。

訪問支援

さまざまな不安を抱える女性のもとに訪問し、お話をうかがい、その方に合った支援につながるようサポートしています。相談記録することも可能です。

居場所の提供

生活や子育ての悩みを持つ女性が集まる場を提供しています。お互いの悩みとを共有し、話しあっていくことで不安の解消につながっています。サロンのように相談の人数が定まる場合もありますが、ふらっと来た人に対して居場所のスタッフが有難いこともあります。

岐阜県は、女性を応援する県一ツルサイト「ぎふジョイ」を開設しています。
<https://gifujoy.pref.gifu.jp/>

ぎふジョイ！



webサイト



facebook



X

詳しくは「**女性のつながりサポート支援**」特設サイトまたはリーフレットをご覧ください。



女性のつながりサポート特設サイト



リーフレット

特定非営利活動法人 **ぎふNPOセンター**

岐阜市飯田南5-14-12 シンクタンク庁舎3F
TEL. 058-275-9739

この取り組みは、岐阜県の要請を受けてNPO法人ぎふNPOセンターおよび協力団体が行っています。



訪問支援	居場所の提供	ネット申請
464件	1140回	104件